

## 対日理解促進交流プログラム(JENESYS2024)

## 韓・日高校生交流訪韓研修に参加！



韓国民俗村にて

| 高校生訪韓団(第1団)研修概要 |           |                                                                                       |
|-----------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | 日         | 主な内容                                                                                  |
|                 | 10月19日(土) | オンラインにて事前説明会                                                                          |
|                 | ~出発まで     | 事前準備と高校交流でのプレゼンテーション・パフォーマンス練習                                                        |
| 1日目             | 11月3日(日)  | 関西国際空港14:00発→仁川国際空港15:55着<br>研修中の宿泊施設 国立国際教育院アリランハウスへ                                 |
| 2日目             | 11月4日(月)  | 在韓国日本大使館公報文化院長 川瀬和広氏による講義<br>韓国国立国際教育院主催歓迎式・昼食会 ワールドK-POPセンターにてK-POPダンス体験 大韓民国歴史博物館見学 |
| 3日目             | 11月5日(火)  | 突馬高校訪問交流(歓迎会・授業交流・文化交流・給食昼食・グループフィールドワーク)                                             |
| 4日目             | 11月6日(水)  | 現代モータースタジオ高陽、景福宮見学                                                                    |
| 5日目             | 11月7日(木)  | ソウル市庁(旧庁舎・新庁舎内部ツアー)、光化門広場(世宗大王銅像)見学 東国大学訪問(日本語学科ソン・ジョンヒョン教授による講義・生徒交流・校内ツアー)          |
| 6日目             | 11月8日(金)  | 韓国民俗村見学(韓服体験・韓服クッキー作り)<br>ハングル・カリグラフィー講座 成果報告会                                        |
| 7日目             | 11月9日(土)  | 仁川国際空港11:05発→関西国際空港12:50着<br>14:00解散                                                  |

十一月三日(日)~九日(土)の日程で二〇二四年度韓・日高校生交流訪韓研修が行われ、本校から生徒十四名と引率教員一名が参加しました。この訪韓プログラムは公益財団法人日韓文化交流基金の高校生訪韓事業で、今年は第一団として和歌山県から五十名、第二団として長野県から五十名が同日程で派遣されました。現地学校における交流をはじめ充実した数々のプログラムを体験し、韓国の文化、経済、歴史など様々な角度から今の韓国を肌で感じながら学ぶことができました。

主な内容は次の通りです。



K-POP ダンス体験



歓迎式

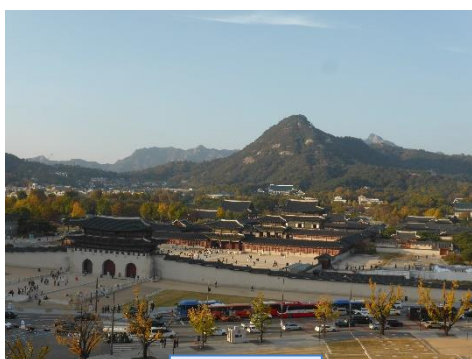


国立国際教育院アリランハウス





突馬高校での交流



景福宮



現代モータースタジオ



世宗大王銅像



ソウル市庁舎



ハングル・カリグラフィー講座



東国大学



研修修了証をいただきました



成果報告会





## 【参加生徒による感想(抜粋)】

私は韓国を訪問するまで英語を上手く話せるか不安でしたが、実際に現地のお店や学校で出会った学生さんたちと英語で話してみたら私の英語が伝わったので、自信をもって話ができました。言語が違ってもお互いに話そうとする意識と聞こうとする意識を持つことが大事だと気づきました。色々な機会でも話をするのができ、韓国の学生はもちろん、日本の学生とも友達になりました。また、日本語を話せる人が思ったよりも多かったことが一番の驚きです。日本は島国なのであまり海外には関心を持たれていないと思っていましたが、韓国の学校で日本語という教科があるということを知って嬉しかったです。韓国に親近感を感じました。このように私は本プロジェクトで大きく視野を広げることができました。これからこの繋がりを大切にしていきたいです。今回、実際に韓国を訪れてよかったです。 祭本 知里

全日程を通して好天に恵まれ、大変有意義な研修となりました。参加生徒たちは、現地の高校生や大学生、様々な方との出会いを通して、友好交流の素晴らしさを実感したようでした。今回芽生えた多くの友情や絆がさらに深まり、一人一人が韓国と日本の友好の架け橋になってくれることを期待しています。今回の研修プログラムに尽力くださった公益財団法人日韓文化交流基金の皆様、現地での通訳やアレンジを担当して下さったインテリジエンス社の皆様に心から感謝申し上げます。

初めての海外で、戸惑うこともたくさんありましたが、多くのことを学ぶことができたと思います。反省点としては、やはり自分の勉強不足です。韓国の方は皆さん優しく話しかけてくれたのですが、私が英語しか話せなかったせいで、貴重な会話の時間をさらに短くしてしまいました。日本の交流団のなかには韓国語を話せる人もいたようで、自分の甘さを実感しました。また、日本と文化の違いを忘れてしまい、皿をもちあげてしまうことがあり失礼なことをしてしまったと反省しています。成果は、たくさんつながりができたことです。韓国の高校生、大学生はもちろん第二団である長野県の高校生の方とも友達になれました。自分とは違うさまざまな環境の方とたくさんお話できて、自分が生きてきた世界の狭さを思い知りました。この経験、繋がりを将来に生かしていきたいと思います。 北岡 真子

以前に比べ、コミュニケーション能力が上がったと感じました。今回は、和歌山県のほかの学校の方や長野県の方、そして、韓国で出会った高校生と大学生の方とお話する機会がありました。最初は、初めて会った人と話すのが怖く、なかなか話しかけることができませんでした。話をしてみたら相手の方も優しく接してくれ、話をするのがとても楽しかったように感じました。それをきっかけに、韓国の方とはできるだけ自分から話しかけるようにし、英語や翻訳機能を使いながら積極的に会話をするようにしました。会話をしたおかげで、韓国の方と楽しい時間を過ごせ、韓国について学ぶことができました。今回が私にとって初めての海外でしたが、とてもいい経験となりました。他の国にも行ってみたいという気持ちになりました。そして、他の国の方とお話することは、相手の国について知れるとともに、交流を深めることができるのだと感じました。 山口 実来

今回のプログラムで私自身成長を感じたのは、物事を多面的に見られるようになったことです。以前よりもチャレンジを大切にできるようになったと思います。反省は、韓国について偏見を持っていたことです。歴史的な問題もあり反日のイメージがありましたが、現地の人たちはとても優しく接してくれたので、イメージが変わりました。実際に訪れてみないとわからないものだと感じました。 関 絢菜

学校訪問によって英語の大切さやお互いの文化の違いを知ることができたのが一番プラスになった。このプログラムを通して最初は自分を制限させて遠慮したりすることがあったりしたけれど、色々な人と関わって色々な場面で発表などがあって、自分を出すことができたようになった。学校訪問では、言語や文化の違いがあっても仲良くなれることを知り、良い経験になった。 谷 妃愛菜

現地の高校の授業を実際に受けてみて感じたことは、授業を受ける姿勢が日本と違うということです。韓国の学生は、授業中に進んで発言し、わからないことはその場で先生に質問していました。授業を受けることに対して受け身で聞いているだけではなく、自ら積極的に学ぼうとしているように感じました。お昼の給食の時間、私は食べる前に手を合わせ「いただきます」と言ったことが韓国の友達に不思議だと言っていました。「いただきます」をする意味を聞かれたので食べ物に感謝するという意味で日本人はするのだよと教えてあげると、驚きリスベクトしたいと言っていました。韓国語にも「いただきます」という意味の「チャルモッケスムニダ」という言葉があるので日本と同じような文化があると思っていましたが、友達の反応をみると日本と違うのだなと文化の違いを感じました。今回の研修を生かし、お互いを知り、お互いの国の違いを受け入れ尊重することで今後の日韓関係をさらに深めることができると思います。 児島 舞

反省として、韓国語をもっともっと学んでから行けばよかったと思いました。韓国の方々には日本語が思ったより通じていたので、ある程度の日本語と英語でコミュニケーションをとることができたのですが、スムーズにはコミュニケーションができていなかったのでも、し次の機会があれば韓国語をマスターして、スムーズにコミュニケーションをとりたいです。成果として、韓国についての色々な文化や歴史について体験し、知ることができました。1週間でチマチョゴリや景福宮、歴史博物館、ソウル支庁、高校訪問、明洞、ハングルでの書道、現代モータースタジオなどを訪れることができ、最高の体験と良い経験になりました。本プログラムを通して将来日韓の架け橋になれたらなと思いました。 轟 千恵

今回の訪韓プログラムを通してたくさんの人と関わることの大切さを知りました。コミュニケーション力や会話能力についても考えさせられる機会となりました。韓国の学校で高校生と交流できたのが一番印象的でした。たどたどしい韓国語で会話してみたり、翻訳機を使って会話したりすることができました。コミュニケーションが上ったと感じることができたのでよかったです。 寺井 夕稀

今回のプロジェクトで韓国と日本の文化の違いや韓国の高校生、大学生の日常を知ることができた。韓国といえば、反日と考えてしまうこともあるが、僕が接してきた韓国人の方々はそんな素振りは一切なく気さくに接してくれ、日本人に深い興味を示してくれているということがわかった。自分から人に話しかけるのが苦手だったが、色々な人とコミュニケーションをとるように心がけると、仲のいい友達もできた。 庄司 玲李

もう少し韓国語や英語で話したかったです。韓国では日本語が話せる人が多く、つい日本語を話してしまい、あまり韓国語や英語を話す機会がありませんでした。このことから、私は少しでも韓国語を話せるように韓国語を勉強しようと思いました。韓国の生徒とSNSで繋がって時々話しているの、私が疑問に思った韓国のことや、逆に日本のことを教え合うことができています。 源地 真祐

今回の研修では通訳の方がいてくれたからこそ楽しめ、多くのことを学ぶことができたが、実際はそう上手くはいかなかった。自分自身、英語力や韓国語力があまりないため、次の機会があればもっとレベルを上げたいと思った。この研修はとても良い機会になった。これから先もっともっと日韓関係が深まることを願いたいと思う。 杉本 姫寿奈

突馬高校では友達ができ多くのつながりを持つことができた。このつながりを今後も大切にしていきたい。韓国語を全然勉強していなかったの、もっと勉強してから行けばよかったと思う。韓国語についても興味を持ったので、これから勉強したいと思う。韓国は日本と変わらないところもあるけれど少し違うところもあるので、文化の違いなどに気をつけたいと思った。韓国の良いところを日本人に伝えたいと思った。 藤田 くるみ

私が一番成長を感じたことは、自分から積極的に行動するようになったことです。以前は、恥ずかしさや自信のなさから行動に移すことができなかったけれど、韓国に行ってパディや現地の方々とふれあって、自分から行動することが多くなりました。 前田 明南